

# 資料 編



# 1 学校安全計画の例

# (1) 学校安全計画例(幼稚園)

項目	月	4	5	6	7 • 8	9
安全	生 活 安 全	○園内の全な生活の仕方・登降園の仕方・登降園の仕方・遊具(同年)の世界ではされずのかがあります。 ではいかり でいかり でいかり でいかり でいかり でいかり でいかり でいかり で	<ul><li>○園外保育での安全 な歩き方 ・集まる、並ぶ等 ・集団で行動するとき の約束</li></ul>	○雨の日の安全な過ご し方 ・雨具の扱い方、始 末の仕方	○水遊びのきまりや ・準備体とでない。 ・準備ルル健康をからでない。 ・でないでない。 ・では、できながらでは、 ・ででは、できながのでは、 ・ででは、できながいでは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・・で、 ・・で	○園生活のリズムを取りまた。 り楽しる東 りまとは、 りまとは、 りまとは、 りまとは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は
教育	交通安全	<ul><li>○安全な登降園の仕方 (親子教室)</li><li>・基本的な交通安全 の約束</li><li>・警察による保護者 向けの講話</li><li>○子ども交通安全免 許証配付</li></ul>	<ul><li>○道路の安全な歩き方 (交通広場にて)</li><li>・信号、道路標識等 の意味</li><li>・安全確認の仕方(左右確認とカーブミラーの見方)</li><li>○園外保育での安全な歩き方</li></ul>	○雨の日の安全な歩き方 ・傘の差し方 ・雨具の着け方	○交通安全に関する 約束の再確認 ・自転車に乗るとき の約束	○自転車の安全な乗り 方(交通指導員によ る親子教室) ・ブレーキのかけ方 ・スタンドの使い方 ・保護者向けの自転 車指導
	災害安全	○避難訓練の意味と 必要性 ○避難の仕方 ・避難訓練の合図を知る (サイレン、放送等) ・避難時さない」 「おしらない」 「しゃべらない」 「もどらない」	<火災> ○非常ベルや放送を 聞く ○教職員の指示に従っ て避難する	<地震・津波> ○地震発生時の身の 守り方を知る ・安全な場で低いなで待るまで待つ ・放送で静かに聞く ・教職員の指示に高 て避難場所に避難する	<地震・火災> ○安全な場で揺れが 収まるまで低い姿勢 で待つ ○教職員の指示に従 い、落ち着いて避 難する	<暴風雨> ○暴風雨、洪水等の 危険についてるる ○緊急引き渡し訓練 ・教職員や保護者の 指示に従い安全に 行動する
行		始業式・入園式 家庭訪問 定期健康診断	園外保育 遠足 こどもの日を祝う会	保育参観 虫歯予防デー	プール開き 七夕の集い 終業式 夕涼み会	始業式 園外保育 運動会
罗马管亚	えたい	○安全点検表の作成 ○園内外の環境の点 検、整備、清掃 ○保育室の点検、整備 清掃 ○緊急時連絡網の作 成・メール配信の 登録	○園外保育・遠足等の 目的地の実施踏査 ○避難場所及び避難経 路の安全環境確認 ○近隣の避難場所及 びそこに至るまでの 避難経路の安全環 境確認	○幼児の動線を考え、 室内での安全な遊びの場づくりの工夫 プール清掃、水質・ 温度管理(気温を 温温)、水遊の会 具・用具の安全点検	○夏季休業中は園舎 内外の規画り の見回り ○新学期が始まる前 に、保育室内外の 清掃、遊具、 の安全点検	○使い慣れた遊具、 場所の安全指導の 徹底 ○危険な行動に対す る、教職員同士の 共通理解、指導の 徹底
組織活動(研修を含む)	全に	○保護者会、 ・園生よりで ・園生また ・園生また ・園生また ・園生また ・園生また ・園の経 ・の大の ・の ・の大の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・の ・	○保護者のでは 保護者のつい。 は大きなでは のでは のでは のでは のでいる。 では のでは のでいる。 では のでは のでいる。 では のでは のでいる。 では のでは のでいる。 では のでは のでいる。 のでは のでは のでいる。 のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは	○保護者会、園だよりで ・水遊理 ・水遊理生活で ・夏安全で ・一切を ・夏安全で ・一切を ・夏安全で ・一切を ・一切を ・一切を ・一の ・一の ・一の ・一の ・一の ・一の ・一の ・一の ・一の ・一の	○保護者署のはよりで 警察を会 よりでで を主義のは、 を主義のは、 を主義のは、 を主義のは、 でででも、 でででも、 でででは、 ででででも、 でででは、 でででは、 でででは、 でででのでは、 ででででも、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででは、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる。 でいる、 でいる。 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる、 でいる。	○保護者会、園だよりでし、 ・通園な通路の ・生活のの ・生活のでは、 ・生活のの ・生活のの ・生活のの ・生活のの ・生活のの ・生活のの ・生活のの ・は調をできる。 ・はは頼いまする。 ・防災の ・大いる ・

10	11	12	1	2	3
○様々な運動、遊びが行名をながの 方の ・ボール、縄、巧 技台等の扱い方	○様々のようでは、 様々のようでは、 を安付い、タースを安付が、タースを安付が、タースでは、 のよりでは、 がのには、 のには、 のには、 のには、 のには、 のには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののには、 ののでは、 のの	○身体内になずす。 ・室内である。 ・室内である。 ・室内である。 ・室のでのでは、のでは、のでのでのでのでのでのでのでのでのでででででででででででで	○寒さに負けず元 気に身体を動かす 空内にこもらず 外で活動する (○性、次東 を対する (○性、次東 (本)、東	○園生活に必要な 約束やきまりを ら気付き、守る ・担任以外の教職 員の指示	○様々な自すする。 ・はあいし、 ・はならすす。 ・はならがででででででででででででででででででででででででででででででででいる。 ・では、ままではできますができます。 ・では、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ま
○遠足、園外保育での交通安全 ・白線やガード歩の内側、歩歩く ・電車の乗り降りと車中の安 でし方	○登降園時、園外保育時の交通ルールに自ら気付き、守る・自分の目と耳で確かめる習慣	○様々な状況、場面での交通ルール・道路の横断・駐車中の自動車の前後の横断 ・雪道の安全な歩き方・屋根の雪にも注意	○登降園時の正し い歩行について の再確認	○様々な状況、場面で自分で判断する ・自分の目と耳で確かめる	○交通安全のため に自分で判断して 行動する ○年長児に小学校 付近の道路の安 全確認
< 火災>	<地震・津波> ○室内いるときのる ・近くの表を知る ・近くの教職員の不 を開いるを知る ・近に集まに聞り、に を作り、に をかかった機敏に 全がなる。	<次> 無予告 ○約束を守り安全かっ機敏に避難する ・遊びを送をしっかり間が の避難の仕方を自分で野難り の性よる の避難のは方を 会対 の対 の と の と が が が と が と が が が と が	<地震・火災> 無予告 ○自由に遊んでいるときの身の守り方を知る ○慌てず、ふざけないで避難する	<火災> 無予告 ○近くの教職員の指 示をしっかり聞き 慌てず非難する ○消防署からの指導	<地震・津波> 無予告 ○約束を守り、安 全かの機敏に避 難する ○避難訓練の大切 さを再確認する
園外保育 遠足	園外保育 学芸発表会	保育観察 餅つき 終業式	始業式 園外保育	節分豆まき 園外保育	ひな祭り 卒園式 終業式
○戸外遊び、遊びの 戸外遊び児の配見 の動外保育を の動外保育機の し、 一島外保育場の し、 一島外保育場の 一島外保 一島の 一島の 一島の 一島の 一島の 一島の 一島の 一島の	○ストーブの点域の 大用する周囲の を開催に 全をでいるでは 全を変形ののでは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	○室内の温度管理、 換気に留意	○室内での遊び、狭いがで場での場ででの場ででの場ででの場での連携・調整 ・一の連携・調整 ・一の連携・調整 ・一の連携・の道の当りでの遊びの連携 ・一、対職員の消火訓練 ・、消防署の指導 ・、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	○室内でび場を 変いなりでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	○1年間の安全点 検の評価・反省 ○次年度の防災組 織等の再編成
○ 保護での音を対している。 ・ 等り子でなりの消防報で ・ 等り子でなりの消防報で ・ は様分全をめ ・ ではいるが、仕る力らにはいるが、 ・ は様分全をめ ・ は様分全をめ ・ は様分全をめ ・ は様分全をめ ・ は様分全をめ ・ は様分全をめ ・ は、 ・ は 、 は 、 は 、 も も も も も も も も も も も も も も	○保護者会 会、ののの庭たは ・消起験が対どに ・消起験が対と時力へて ・調度の ・調度の ・での ・で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○保護者会 よりでみ全園だ ・冬でか全園だ ・冬でい間末本ののに でのでのでのでのでのでのででのででのででのでででのでででででででででで	○保護者 会 は り降地難法雪のなの ・ の生、再登、の連 ・ 大避済を時歩どい依頼 ・ 大変時連確降身配絡 ・ 大変時連確降身配絡 ・ 大変時連確降身配絡 ・ 大変時連確降身配との たるで 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に	○保護者会 よりで ・降雪のおどで ・降身のないで ・降身のないで ・降身のないで ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○保 (保 (保 (保 (保 (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は

# (2)学校安全計画例(小学校)※学級活動の欄 ◎…1単位時間程度の指導 ●…短い時間の指導

項	目	_	月	4	5	6	7 • 8	9
	F	の፤	重点	通学路を正しく歩こう	安全に休み時間を過 ごそう	規則正しい生活をし よう	安全な生活をしよう	時間をみて計画的に 過ごそう
	違	<u> </u>	徳	規則尊重	生命尊重	思いやり・親切	勤勉・努力	明朗・誠実
		生	活活	・地域探検時の交通 安全	<ul><li>・野外観察時の交通 安全</li><li>・移植ごて、スコッ プの使い方</li></ul>	・公園までの交通安全・遊具の使い方	・虫探し、まち探検時の交通安全	・はさみ、カッター ナイフの使い方
	安	理	1 科	<ul><li>・野外観察時の交通 安全</li><li>・アルコールラン プ、虫めがね、移 植ごての使い方</li></ul>	・台風と天気の変化 (5年) ・カバーガラス、ス ライドガラス、フ ラスコの使い方	・スコップ、ナイフ の使い方	・夜間観察の安全 ・試験管、ビーカー の使い方	<ul><li>・地震による土地の変化(6年)</li><li>・観察中の安全</li><li>・フラスコ、ガラス管の使い方</li></ul>
	全	社	会					
	学	区	l I	・はさみ、カッター ナイフ、絵の具、 接着剤の安全な使 い方	・コンパスの安全な 使い方	・のこぎり、小刀、 金づち、くぎ抜 き、くぎの使い方	・木づち、ゴム、電 動のこ、ニスの使 い方	
安	習	家	: 庭	<ul><li>熱湯の安全な取扱い方</li><li>ガスコンロの使い方</li></ul>	・針、はさみの使い方	・実習時の安全な服 装の選び方 ・包丁の使い方	<ul><li>・食品の取扱い方</li><li>・調理用具・器具の安全な使い方</li><li>・洗たく機の使い方</li></ul>	・ミシンの使い方
  全		体	育	・固定施設の使い方 ・運動の場の安全確認	・集団演技、行動時 の安全	・鉄棒運動時の安全	・水泳前の健康観察 ・水泳時の安全	・跳躍運動時の安全
			合的な 習の時間	  「わが町たんけん」( : 	3年)、「交通安全マッ	プづくり」(4年)、「E	自分の命を守ろう」(5	年)、
教		学	低学年	<ul><li>通学路の確認</li><li>○安全な登下校</li><li>安全な給食配膳</li><li>子ども110番の家</li></ul>	<ul><li>●休み時間の約束</li><li>○遊び場や行き帰りの安全</li><li>●遠足時の安全</li></ul>	●地震・津波の約束 ◎プールの約束	●夏休みの約束 ◎自転車乗車時の約束 ●雨天時の約束 (雨・落雷の危険)	●運動時の約束 ◎校庭や屋上の使い 方のきまり
育	安	級活	中学年	●通学路の確認 ●誘拐の起こりやす い場所 ◎安全な登下校 ●安全な清掃活動	●休み時間の安全 ◎子ども110番の家 ●遠足時の安全	●地震・津波の約束 ◎安全なプールの利 用の仕方	●道路での自転車乗車のきまり ②夏休みの安全な過ごし方 ●雨天時の安全な過ごし方(落雷の危険)	●運動時の安全な服装 ◎校庭や屋上の安全 な使い方
	全指道	動	高学年	●通学路の確認 ◎安全な登下校 ●交通事故から身を 守る ◎身の回りの犯罪 ●委員会活動の意義	<ul><li>●休み時間の事故とけが</li><li>◎防犯にかかわる人たち</li><li>●交通機関利用時の安全</li></ul>	●地震・津波の約束 ◎プール等での救急 法、着衣水泳	●自転車の点検と整備の仕方 ◎夏休みの事故と防止策 ●雨天時の事故とけが(落雷の危険)	●運動時の事故とけが ◎校庭や屋上で起こ る事故の防止
	導	児童	童会活動	・代表委員会 ・前期委員会開始 ・1年生を迎える会	・クラブ活動開始 ・生活委員会 ・赤十字登録式	<ul><li>ユニセフ募金</li><li>生活委員会</li></ul>	・七夕集会 ・生活委員会	・運動会準備、運営 ・生活委員会
		l .	な学校 行事等	・入学式 ・健康診断 ・春の交通安全運動	・防犯教室、防犯避 難訓練 ・遠足 ・新体カテスト	・心肺蘇生法講習会・プール開き	・交通安全教室 ・林間学校 ・夏季水泳指導	<ul><li>・秋の交通安全運動</li><li>・水泳記録会</li><li>・移動教室</li></ul>
安全管理		対人管理		・安全な通学の仕方 ・安全のきまりの設定	・固定遊具の安全な 使い方	・校舎内での安全な 過ごし方 ・プールでの安全の きまりの確認	・自転車乗車時のきまり、点検・整備	・校庭や屋上での安 全な過ごし方
垣		対物	<b></b> 勿管理	・通学路の安全確認 ・安全点検年間計画 の確認	・保安器具・設備の 点検、整備	・学校環境の安全点 検、整備	・夏季休業前中の校 舎内外の点検	・校庭や屋上など校 舎外の整備
学	絍	1織?	こ関する 舌動 ≥含む)	・春の交通安全運動 ・教職員、保護者の 街頭指導	・校外における児童 の安全行動把握、 情報交換 ・地域生活指導情報 交換会 ・熱中症予防に関する研修	・学校安全(保健) 委員会 ・地域の危険箇所点検 ・心肺蘇生法 (AED) 研修	・国民安全の日 (7月1日) ・地域パトロ-ル ・教職員防犯研修会	・秋の交通安全運動 の啓発と街頭指導 ・防災の日(1日) ・地域防災訓練の啓発

10	11	12	1	2	3			
進んで学習に取り組 もう	進んで仕事をしよう	安全な冬の生活をし よう	進んであいさつをし よう	寒さに負けず、元気 に運動しよう	1年間の反省をしよう			
思いやり・親切	家庭愛	勇気	勤勉・努力	節度・節制	愛校心			
・たけひご、つまよ うじの使い方	・郵便局見学時の安全	・はさみ、ステープ ラーの使い方	・カッター、ナイフ の使い方	・ガスコンロの使い方	・移植ごての使い方			
・太陽観察時の注意	・ポリ袋、ゴム風船 の使い方	・鏡、凸レンズ、ガ ラス器具の使い方	・バーナー、蒸発皿 の使い方	・針金、プラスチッ クの使い方	・塩酸、水酸化ナトリウムの取扱い方			
関東大震災(6年)			私たちの国土(台風) (5年)		くらしを守る(災害が 起きて)(3・4年)			
・彫刻刀の管理と使い方	・ラッカー、シン ナーの取扱い方	・竹ひご、細木の使い方	・小刀の管理と使い方	・陶器作製時の注意	・共同作品作製時の 安全			
・アイロンの使い方	・快適な住まい方・暖房器具の使い方	・住宅用洗剤の使い方	食品の日付表示	・油の安全な取扱い方 ・フライパンの使い方	・調理用具・器具の安全な使い方			
・マット、跳び箱運動時の安全	・持久走時の安全	・ボール運動時の安全	・冬期スポーツの安全	・けがの防止(保健)	・固定施設利用時の 安全			
「防災マップづくり」	「防災マップづくり」(6年)等、安全にかかわる課題を年間活動計画に位置付ける(20~35時間)							
◎乗り物の安全な乗り降りの仕方 ・廊下の安全な歩行の仕方	<ul><li>◎災害時の正しい行動の仕方</li><li>●安全な集団行動</li></ul>	●暖房器具の安全な 使い方 ◎冬休みの安全な過 ごし方	<ul><li>◎「おかしも」の約束</li><li>●安全な服装</li></ul>	<ul><li>◎身近な道路標識</li><li>●雪道の歩き方</li></ul>	● 1 年間の反省 ◎けがをしないため に			
<ul><li>◎電車、バス内での 安全な過ごし方</li><li>●校庭での安全な遊び方</li></ul>	<ul><li>◎災害時の正しい行動の仕方</li><li>●安全な集団行動</li></ul>	●暖房器具の安全な 使い方 ◎冬休みの安全な過 ごし方	●「おかしも」の約束 ◎災害時の安全	<ul><li>◎自転車に関係のある道路標識</li><li>●凍結路の安全な歩き方</li></ul>	<ul><li>● 1 年間の反省</li><li>◎けがをしやすい時間と場所</li></ul>			
<ul><li>◎電車、バス乗車時の事故とけが</li><li>◆校庭の安全点検</li></ul>	<ul><li>◎災害時の正しい行動の仕方</li><li>●安全な集団行動</li></ul>	●暖房器具の安全な 使い方 ◎冬休みの事故やけが	<ul><li>◎災害時の安全・携 行品</li><li>●安全な身支度、衣 服の調節</li></ul>	◎交通ルールと標識 ●道路凍結時の事故 とけが	●1年間の反省 ◎けがの種類と応急 処置			
・生活委員会	・後期委員会開始 ・生活委員会	・学校まつりの準備 ・生活委員会	・開校記念日集会 ・生活委員会	・クラブ発表会 ・生活委員会	・6年生を送る会 ・生活委員会			
・運動会 ・地域連合運動会	・学習発表会 ・展覧会 ・火災避難訓練 (煙体験)	・学校まつり	・地震避難訓練 ・地域連合文化祭 ・書き初め	・節分集会	・卒業式			
・電車、バスの安全 な待ち方と乗降の 仕方	・安全な避難の仕方	・暖房器具の安全な 使い方	・災害時の身の安全 の守り方	・道路標識の種類と 意味	・1年間の人的管理 の評価			
・駅、バス停周辺の 安全確認	・避難経路の確認 ・防災設備の点検、 整備	・学校内の危険箇所 の点検・整備	・防災用具の点検、 整備	・学区内の安全施設 の確認	・1年間の学校環境、 安全点検の評価			
・地域生活指導情報 交換会	・通学路点検 ・津波防災の日(5日)	・年末年始の交通安 全運動の啓発 ・学校安全(保健) 委員会	・PTA安全 (保健)委員会 ・防災とボランティア 週間(17日を含む)	・学校安全(保健) 委員会	・地域交通安全パトロール			

# (3)学校安全計画例(中学校)※学級活動の欄 ◎…1単位時間程度の指導 ●…短い時間の指導

項	目	_	月	4	5	6	7 • 8	9
	E	1	標	安全な通学方法を学習しよう	施設設備の安全な使い 方を身につけよう 安全な避難の仕方を身 につけよう	雨天時の安全に気をつ けよう	正しい生活リズムを守 ろう	安全な避難の仕方を身につけよう
		道		生命の尊さ	集団の意義	自主自律	法の遵守	奉仕
		<b>才</b>	±会科	・世界と比べた日本の地	域的特色(自然災害と防	「災への努力) 		
		理	科	・理科室における一般 的注意 ・実験時の危険防止と ふさわしい服装	<ul><li>・薬品ガラスや器具の 使い方</li><li>・加熱器具の使い方</li><li>・備品の点検整備</li></ul>		薬品検査	・自主研究の実験場の 注意 ・電気についての知識
	安	美	術	<ul><li>・美術室における一般 的注意</li><li>・カッター、はさみ、 コンパス等の使用上 の注意</li></ul>	・備品の点検整備	・彫刻刀の正しい使い方	・ニードル等の道具の 使用の注意 ・備品検査	・カッター、はさみ、 コンパス等の使用上 の注意
	全学		が・家庭	・施設・設備の使用上 の注意 ・作業場所の確保と危 険回避	・金属材料の性質と切断 ・日常での木製品の利用	・工作加工機械や工具 の安全や点検	・切断切削加工時の安全 ・備品の点検整備	工作機械の安全な利用
	習			・実習室の使用上の注 意と食についての一 般的な注意	・ガスコンロの使い方 ・喚起について ・ゴム管の点検	・調理実習における注意 ・日常食の調理	・備品の点検整備	・電気の安全な利用 ・食生活と健康
安 全		体	育分野	・集団行動様式の徹底 ・施錠や用具の使い方	・備品の点検整備 ・新体力テストの行い 方と測定の仕方	・水泳の事故防止について	・サッカーにおける適切 な用具、場所の使い 方 (ゴールの運搬や固 定の仕方等)、ルール やマナーの徹底、ゲー ムの安全	・陸上運動の適切な場 所の使い方と測定の 仕方
		保	健体育		○心身の機能の発達と 心の健康(1年)	○傷害の防止 (2年)	○生活行動・生活習慣 と健康(3年)	
教			的な の時間	〈活動例〉「わが町の交	<ul><li>通安全対策調べ」「学区</li></ul>	- 安全マップづくり」「災 -	害と町づくり」 など	
育		学	1年生	●中学生になって ◎自転車利用の安全と 点検 ●通学路の確認 ●自分でできる安全点検	<ul><li>◎災害時の安全な避難の仕方と日常の備え</li><li>●清掃方法の確認</li><li>●運動会の取り組みと安全</li></ul>	<ul><li>◎水泳・水の事故と安全</li><li>●雨天時の校舎の使い方</li><li>●中体連と安全</li></ul>	●落雷や風水害の危険 ◎夏休みの生活設計と 安全(防犯) ●自分の健康チェック	<ul><li>○地震による津波の危険</li><li>●災害時の備えと対応</li><li>●自転車の正しい利用の仕方</li><li>●危険予測と交通状況への対応</li></ul>
	安全	級活	2年生	<ul><li>◎自転車利用の安全と 点検</li><li>●通学路の確認</li><li>●自分でできる安全点検</li></ul>	<ul><li>◎災害時の安全な避難 の仕方と日常の備え</li><li>●運動会の取組と安全</li></ul>	<ul><li>◎水泳・水の事故と安全</li><li>●雨天時の校舎の使い方</li><li>●中体連と安全</li></ul>	●落雷や風水害の危険 ◎夏休みの生活設計と 安全(防犯) ●自分の健康チェック	<ul><li>◎地震による津波の危険</li><li>●災害時の備えと対応</li><li>●自転車の正しい利用の仕方</li></ul>
	指導	動	3年生	<ul><li>◎自転車利用の安全と 点検</li><li>●通学路の確認</li><li>●自分でできる安全点検</li><li>◎修学旅行時の安全</li></ul>	<ul><li>◎災害時の安全な避難 の仕方と日常の備え</li><li>●運動会の取組と安全</li></ul>	<ul><li>◎水泳・水の事故と安全</li><li>●雨天時の校舎の使い方</li><li>●中体連と安全</li></ul>	●落雷や風水害の危険 ◎夏休みの生活設計と 安全(防犯) ●自分の健康チェック	<ul><li>◎地震による津波の危険</li><li>●地域防災の参加とボランティア</li><li>●自転車の正しい利用の仕方</li></ul>
	守	生徒	走会活動	・部活動紹介	・校内安全点検活動	・生徒総会 ・中体連壮行式	・球技大会	・中体連新人戦壮行式
		学	校行事	<ul><li>・入学式</li><li>・交通安全教室</li><li>・修学旅行</li></ul>	<ul><li>・生徒総会</li><li>・運動会</li><li>・避難訓練</li></ul>	・中体連地区大会 ・1年喫煙防止教室 ・2年思春期教室	・中体連県大会	・中体連新人戦 ・遠足
		苔	<b>『活動</b>	・活動ガイダンス ・練習の進め方指導	・部活動保護者会	・熱中症予防指導		
安全管理		対人	管理	<ul><li>・通学方法の決定</li><li>・安全のきまりの設定</li><li>・緊急時における対応 の確認</li></ul>	・身体の安全及びけが の予防について	<ul><li>・校舎内の安全な過ごし方</li><li>・プールにおける安全管理について</li></ul>	<ul><li>自分でできる点検ポイントについて</li><li>・救急体制の見直し</li><li>・夏季休業中の部活動での安全と対応</li></ul>	・自転車の正しい乗り方
理		対物	管理	・通学路の確認 ・安全点検年間計画の確認 (点検方法等研修含む)	・運動場など校舎外の整備	・学校環境の安全点検及び整備(階段・廊下・プール)	・夏季休業前や夏季休 業中の校舎内外の点 検	・学校環境の安全点検 及び通学路の整備
学	組	1織活	i関する i動 含む)	・春の交通安全運動 ・教職員の街頭指導 ・挨拶運動	・各校情報交換会 ・PTA総会 ・校外における生徒の 安全行動把握 ・熱中症予防に関する 研修	・宵宮巡回指導 ・心肺蘇生法 (AED) 研修	・生徒指導協議会 (学警連絡協議会) ・宵宮巡回指導 ・各校情報交換会 ・校外の巡回 校地内除草作業 ・国民安全の日(7月1日)	・防災の日(1日)

10	11	12	1	2	3
下校時の安全に気をつけよう	身の回りの安全を確認しよう	暖房器具を安全に使用しよう	冬期間の交通安全に気 をつけよう	自己管理を心掛け、健 康にすごそう	1年間を振り返り、次 へのステップにしよう
友情の尊さ	社会連帯	郷土愛	人間愛	生命の尊重	社会への奉仕
・日本の諸地域(地域の	)自然災害に応じた防災対	  策)	・地域観察時の安全	1	
電気器具の使い方	力学関係の実験器具の使い方	・薬品検査 ・理科室と準備室の整備	大地の成り立ちと変化 ・地震発生のメカニズ ムと震度 ・火山活動の様式とマ グマの性質	気象とその変化 ・天気の変化 ・日本の気象 自然と人間	・備品整理 ・薬品点検(台帳管理)
・版画用プレス機の使い方	・小型ナイフの使い方 ・打ち出し用具の使い 方	・塗装の際の一般的注意	・カッター、はさみ、 コンパス等の使用上 の注意	・絵の具、用具の保管 や管理の指導	・教室での一般的諸注 意 ・器具、用具の点検
・塗装時の換気や火気	・暖房と換気について ・床に落ちているもの の危険性	・電気器具の取扱い ・家庭電気の安全な利用	<ul><li>・電子機器の利用と安全</li><li>・はんだ付けによる火傷の注意</li></ul>	・加熱と漏電 ・電気製品製作上の安 全配慮 ・備品検査	・器具点検整備 ・備品の検査 (台帳管理)
・器具点検整備 ・備品検査(台帳管理)	・幼児や高齢者等との 交流についての一般 的な注意	・衣服製作についての 一般的な注意 ・備品の点検整備	・アイロン、ミシンの 適切な使い方	・備品の点検整備	・備品の点検整備
・器械運動における段階的な練習と適切な補助の仕方	・武道における場所、用具の適切な使い方と手入れ(禁じ技など)	・ウインタースポーツ の一般的な注意		スキー、スケート教室 の注意	・器具用具の点検 ・備品の点検
○自然災害(全学年)	  ○喫煙、飲酒、薬物乱   用と健康(3年)		○感染症予防 (3年)		
●交通法規の意義と安全 全 ●文化祭の準備と安全	<ul><li>●火災発生時の対応と 避難</li><li>●ストーブの取扱いに ついて</li></ul>	<ul><li>◎冬休みの生活設計と 安全(防犯)</li><li>●自分の健康チェック</li><li>●スキー、スケート等 における安全</li></ul>	●冬季の交通安全 ●降雪時の安全 ●防災意識の高揚(阪神・淡路大震災、東日本大震災の想起)	●安全な登下校 ●けがの発生状況とそ の防止	● 1 年間の反省 ●学校・教室環境の整備
●交通法規の意義と安全 ●文化祭の準備と安全 ●部活動の安全とリーダーの役割	<ul><li>●火災発生時の対応と 避難</li><li>●ストーブの取扱いに ついて</li></ul>	<ul><li>◎冬休みの生活設計と 安全(防犯)</li><li>●自分の健康チェック</li><li>●スキー、スケート等における安全</li></ul>	●冬季の交通安全 ●降雪時の安全 ●防災意識の高揚(阪神・淡路大震災、東日本大震災の想起)	●安全な登下校 ●けがの発生状況とそ の防止	● 2 年間の反省 ●学校・教室環境の整備
●交通法規の意義と安全 全 ●文化祭の準備と安全	<ul><li>●火災発生時の対応と 避難</li><li>●ストーブの取扱いに ついて</li></ul>	<ul><li>◎冬休みの生活設計と 安全(防犯)</li><li>●自分の健康チェック</li><li>●スキー、スケート等 における安全</li></ul>	●冬季の交通安全 ●降雪時の安全 ●防災意識の高揚(阪神・淡路大震災、東日本大震災の想起)	●安全な登下校 ●けがの発生状況とそ の防止	● 3年間の反省 ●学校・教室環境の整備
・文化祭	生徒総会		・ボランティア活動など の社会参加		・卒業式
・文化祭	・生徒会役員選挙 ・避難訓練		・避難訓練	・立志式	・卒業式 ・修了式
		・冬季に多い傷害予防 指導			
・文化祭の準備と安全	・避難時の約束について	・携帯電話、パソコン の安全な使い方	・身体の安全及びけが の予防について	・施設・設備等の安全な使い方について	・1年間の人的管理の評価と反省
・学校環境の安全点検 及び整備(体育館)	・避難所として開放する場所の点検	・避難経路の確認 ・防火設備、用具の点 検整備	・諸設備の点検及び整備	・学校環境の安全点検 及び備品の整備(備 品)	・1年間の学校環境安全点検の評価と反省
・秋の交通安全運動 ・各校情報交換会	・津波防災の日(5日)	・生徒指導協議会(学 警連絡協議会) ・年末年始の防犯運動	・防災とボランティア週 間 (17日を含む)	・各校情報交換会	・年間の反省 ・今年度活動の評価と 次年度の計画立案

# (4) 学校安全計画例 (高等学校) ※ホームルーム活動の欄 ◎…1単位時間程度の指導 ●…短い時間の指導

項		月	4	5	6	7 • 8	9
	E	標	安全な通学	学校生活での安全	梅雨期の健康安全	野外活動での安全	学校行事での安全
		地理·歷史· 公民	(現)青年期の課題	(地) 世界の地形・ 気候	(現)現代社会の特質	(現)都市問題	
	安全	理科	・実験器具等の安全な 扱い方 ・施設・設備・薬品管 理等の点検	・観察、実験における 一般的な注意及び 危険防止の注意	(物) 摩擦力、運動量、 円運動等により車 の安全運転の理解	(物) 衝突·運動エネ ルギー及びエネル ギー保存法則によ る車の衝突の理解	(化)物質と人間生活 (身近にある化学 物質の性質の正し い理解)
	学習	保健体育	・体育施設・用具の安 全点検 ・既往症の把握	・定期健康診断の結果 からの自己分析 ・(保) 交通安全	<ul><li>・発汗作用について</li><li>・雨季の体育館、グラウンド使用(転倒防止)</li><li>・(保)応急手当</li></ul>	<ul><li>・水泳の安全</li><li>・熱中症の予防</li><li>・野外活動と安全</li><li>・体育施設・用具の安全点検</li></ul>	・体育大会の準備 ・体育施設・用具の安 全点検 ・体育大会の事故防止
安		総合的な 学習の時間 (防災)	て、ボランティア活	閲覧、災害の種類と対応	5(防災壁新聞・ポスタ マップについて、災害時		
全		1 年 ホームルーム 活動	<ul><li>◎高校に入学して</li><li>●通学時の安全</li><li>●防災体制の確立</li><li>●犯罪被害の防止</li></ul>	◎交通安全への参加 ●部活動や休憩時の 安全 ●自転車の構造と点 検整備	<ul><li>◎通学路に潜む危険</li><li>◎地震と安全</li><li>●雨の日の安全行動</li></ul>	◎夏休みの生活と安全(防犯を含む) ●野外活動の安全	●体育大会の安全 ◎地震災害対策 ◎歩行者の安全と交 通環境 ●通学路の安全
教		2 年 ホームルーム 活動	<ul><li>◎2年生になって</li><li>●通学時の安全</li><li>●防災体制の確立</li><li>●犯罪被害の防止</li></ul>	<ul><li>○高校生の心理や行動と事故の特徴</li><li>●部活動と健康管理</li><li>●自転車の安全な利用</li></ul>	<ul><li>◎地震と安全</li><li>●雨の日と安全行動</li></ul>	◎夏休みの生活と安全(防犯を含む) ●野外活動の安全	●体育大会の安全 ◎地震災害対策 ◎交差点に潜む危険 ●通学路の安全
育	安全	3 年 ホームルーム 活動	<ul><li>◎3年生になって</li><li>●通学時の安全</li><li>●防災体制の確立</li><li>●犯罪被害の防止</li></ul>	◎幼児・高齢者・障害 のある人の心理と 行動 ●安全意識と行動 ●自転車の安全な利用	<ul><li>◎運転者の心理と行動特性</li><li>◎地震と安全</li><li>●雨の日と安全行動</li></ul>	◎夏休みの生活と安全(防犯を含む) ●野外活動の安全	●体育大会の安全 ◎地震災害対策 ◎交通事故の対応と 応急手当 ●通学路の安全
	指導	主な 学校行事	<ul> <li>・入学式</li> <li>・始業式</li> <li>・春の交通安全指導</li> <li>・定期健康診断</li> <li>・歓迎遠足</li> <li>・1年生(オリエンテーション)</li> <li>・部活動年間計画作成</li> </ul>	・学校保健安全委員会 ・遠足安全指導 ・救急法講習会 ・交通安全教室 ・高校総体壮行会	・防災避難訓練 「火災」 ・高校総体 ・保健委員会 ・衛生講話 ・文化祭実行委員会	<ul><li>・文化祭</li><li>・終業式</li><li>・防犯避難訓練</li><li>・教室も実施</li><li>・クラスマッチでの安全指導</li><li>・夏休みの諸注意</li></ul>	<ul><li>・始業式</li><li>・防災避難訓練 「地震」</li><li>・体育大会</li></ul>
		個別指導	・自転車通学許可 ・校門立番指導	・自転車の点検	<ul><li>健康診断結果の指導</li></ul>	・校外指導 ・生徒指導全体集会 ・自転車の実技指導 ・免許取得指導 ・校外巡視	・自転車の点検 ・新規免許取得者指導
		部活動	<ul><li>新入部員オリエン テーション</li></ul>	・用具の点検・整備	• 部活動新旧部長会	・救急法実技講習会 ・合宿・遠征の安全	・用具の点検・整備
安	対人管理	学校生活の 安全管理	<ul><li>・通学状況調査</li><li>・防災体制の確立</li><li>・救急体制の確立</li><li>・登下校指導</li><li>・安全計画の設定</li><li>・下宿、アルバイト調査</li></ul>	<ul><li>・授業時の安全確認 (体育実技、農業実 習、理科実験、家庭 科実習)</li><li>・車に係る規則の徹底</li><li>・事故調査と防止対策</li></ul>	・水泳指導健康管理 ・梅雨期の健康管理 ・生徒引率の安全確認 ・防災避難訓練の徹底 ・食中毒防止	<ul><li>・文化祭の安全対策</li><li>・長期休業前生活指導</li><li>・大掃除の安全確認</li><li>・夏休みの健康管理</li></ul>	・防災対策の徹底 ・通学路の見直し ・防災避難訓練の徹底
全管理	対物管理	学校環境の 安全点検	・学校環境の安全点検整備(施設・設備、通学路) ・自転車置場施設・防災設開の点検整備 ・防災設開電気工作物保安点検 ・し尿浄化槽消毒	・学校環境の安全点検整備(普通・特別教室、実験実習器具)・環境整備美化作業・自家用電気工作物保安点検・し尿浄化槽消毒・毒物劇物の適正な管理等について	・学校環境の安全点検整備(体育館、格技場、部室、運動器具)・校内衛生検査(厨房、水質)・プール掃除・通学路安全点検	・学校環境の安全点検整備(校庭、学校全般) ・プール水質管理 ・消火器、消火栓、火 災報知器の点検 ・ブール水質管理	・学校環境の安全点検整備(普通、特別教室、実験実習器具) ・通学路安全点検・プール水質管理 ・防災施設・設備の点検整備
学	組	全に関する 織活動 修を含む)	・春の交通安全運動 ・交通街頭指導 ・中高連絡会	・PTA総会 ・保護者会 ・学校保健(安全)委 員会 ・熱中症予防に関する 研修	・保護者面談 ・PTA委員会 ・心肺蘇生法 (AED) 研修	・生徒指導協議会 (学警連絡協議会) ・校外補導・危険箇所 巡視 ・教職員防犯研修会 ・国民安全の日 (7月1日)	・防災の日(1日)

1 0	1 1	1 2	1	2	3
			1		
交通道徳の理解 (現)地球環境問題	安全な行動 (現)地方自治と住 民参加	事故・災害の防止 (現)公害の防止と 環境保全 (地)地球の内部・ 大気・海洋に関す る正しい理解	安全な通学 (現) 公害問題 (地) 居住・都市問題	事故原因と対策 (倫)現代に生きる 人間の自然観と人 間観	安全な生活 (倫)人間としての在 り方、生き方
(生) ガス中毒、一酸化炭素中毒の仕組みと応急手当	(物) 電気器具の取 扱い上の注意		(化)物質の変化、 化学反応(反応熱、 酸、塩基についての 正しい理解)	(生)環境と動物の 反応についての正 しい理解	(化)炭化水素類の 取扱い上の注意
・(保) 健康と運動・校内マラソン大会の安全	・体力について	・冬季スポーツの意義 ・体育施設・用具の安 全点検	・生徒の健康状態把握 ・体育施設・用具の安 全点検	(保)職業と健康	・安全に関する評価 ・体育施設・用具の 安全点検
<ul><li>●事故災害時の応急 手当</li><li>●校内マラソン大会 の安全</li></ul>	<ul><li>◎自転車加害事故の 責任</li><li>●火災の予防とストーブの取扱い</li></ul>	◎火災予防と避難訓練 ●冬休みの生活と安全	◎交通事故の対応と 応急手当	<ul><li>◎幼児と老人の心理と行動</li><li>●危険の予測</li><li>●地域の安全活動</li></ul>	<ul><li>○春休みの生活と安全</li><li>●今年度活動の評価とまとめ</li></ul>
<ul><li>◎修学旅行の安全</li><li>●校内マラソン大会の安全</li></ul>	<ul><li>◎危険予測訓練</li><li>火災の予防とストーブの取扱い</li></ul>	<ul><li>◎火災予防と避難訓練</li><li>●冬休みの生活と安全</li></ul>	◎ これからの社会生 活と交通問題	<ul><li>◎休業日の交通事故 防止</li><li>●規律正しい生活</li><li>●地域の安全活動</li></ul>	<ul><li>○春休みの生活と安全</li><li>●今年度活動の評価とまとめ</li></ul>
<ul><li>●事故災害時の応急 手当</li><li>●地域の安全活動</li><li>●校内マラソン大会 の安全</li></ul>	<ul><li>◎運転免許の仕組みと運転者の義務・ 責任</li><li>●火災の予防とストーブの取扱い</li></ul>	◎火災予防と避難訓練 ●冬休みの生活と安全	◎これからの社会生 活と交通問題	◎家庭学習について ●規律正しい生活	<ul><li>◎卒業に当たって</li><li>●今年度活動の評価とまとめ</li></ul>
・修学旅行の安全指導	・交通安全教室	・防災避難訓練 「火災」 ・冬休みの諸注意 ・終業式	・始業式	・学校保健委員会 ・1、2年生(生徒 指導集会) ・校内意見発表会	・卒業式 ・終業式 ・春休みの諸注意
・校外巡視	・校外巡視	・自動車免許取得の 手続き ・校外巡視	・免許取得の指導 ・校外巡視	・校外巡視 ・入社前指導	• 校外巡視
・活動場所の安全点検	・用具の点検・整備	・部室の安全点検	・活動場所の安全点検	・応急手当実技講習	
・修学旅行安全対策 ・授業時の安全管理点検 ・事故災害時の応急 手当の徹底 ・校内マラソン大会 の安全対策		・長期休業前生活指導 ・冬休みの健康管理 ・校内競技大会の安 全対策 ・防災避難訓練の徹底	・換気・採光設備の点 検検査	・交通規則の徹底	・今年度活動の反省と 次年度の計画立案 ・長期休業前生活指導 ・本年度の事故発生 のまとめ
・学校環境の安全点検整備(体育館、部室、運動器具)	<ul><li>・学校環境の安全点検整備(校庭)</li><li>・ストーブの取扱い方・毒物劇物危害防止対策総点検</li></ul>	・学校環境の安全点検整備(普通・特別教室、実習実験器具) ・防災施設・設備の点検整備	<ul><li>・学校環境の安全点検整備(体育館、部室、運動器具)</li><li>・火気器具の安全点検</li></ul>	<ul><li>・学校環境の安全点検整備(施設、設備)</li><li>・火気器具の安全点検</li></ul>	・今年度の安全点検 活動の評価 ・次年度の計画立案 ・生徒用机・いすの 点検整備 ・防災施設・設備の 点検整備
・秋の交通安全運動 ・中高連絡会 ・学校保健(安全) 委員会	・保護者面談週間 ・安全に関する広報活動 ・津波防災の日(5日)	・交通街頭指導 ・生徒指導協議会 (学警連絡協議会) ・年末の交通安全運動	・交通街頭指導 ・PTA委員会 ・学校保健(安全)委 員会 ・防災とボランティア 週間(17日を含む)	・安全に関する広報活動	・今年度活動の評価と 次年度の計画立案

# (5) 学校安全計画例 特別支援学校(視覚障害)

項		_	月	4	5	6	7 • 8	9	
		月の	重点	安全な行動を身に 付けよう	学校生活での安全 を理解しよう	運動会を安全に行 おう	夏休み中の事故を 防止しよう	校外行事を安全に 行おう	
			臨床実習	あんま、針、灸の実	習時における安全			_	
				体育施設、用具・ 遊具等の点検と適	運動会、スポーツ テストにおける安全	水泳時における安全	<u> </u>	健康管理と運動の	
		教	保健体育	切な使い方	ノヘドにのりつ女王	水難事故における救	急法		
	安					心肺蘇生法	•••••		
	全 科 理 科 実験器具の点検・薬品の調査点検 (使用時常時点検)								
安	学		技術・家庭	電気工具や器具・調	理器具の安全点検				
	子		図工・美術	はさみ、カッターナ	イフ、のこぎり、金つ	ブち、〈ぎ、接着剤等	の使用		
全	習		自立活動	健康の保持・心理的	かな安定・環境の把握	屋・身体の動き・コミ	ュニケーション		
教		総	合的な活動	自然体験やボランラ	ティア活動などの社会	体験、観察・実験、	見学や調査、ものつ	がくりや生産活動な	
<b>X</b>			交通安全	毎学期初期に歩行訓練 交通安全指導					
育	安			安全な通学の仕方	安全な学校生活の	水難事故防止の心得	₹	運動時における安全	
	全		学級活動	誘拐などの犯罪被害の防止	仕方	避難経路の確認	清掃時の安全 夏休みの安全 (含防犯)		
	指導		課外活動 (部活動)		盲学校バレーボー ル大会	盲学校文化体育大会		全国盲学校野球大会	
	等	1	<sup>2</sup> 校行事等	入学式 新入生歓迎会	健康診断 交通安全教室 修学旅行(高)	避難(防災) 訓練 運動会 自然体験活動	水泳教室	校外清掃 宿泊生活学習 社会見学	
	·			通学路の交通安全 の確認	緊急連絡網の確認 運動会練習の安全	地震避難訓練の確認	夏休み中の安全	校外学習における 安全	
安		文	人管理		通学路等の安全確認	79 L			
全管				安全点検の確認 (毎	月)	•	•	•	
理		文	物管理	通学路の設定と施 設・設備の安全点検		施設・設備の点検 水質検査 —	<b>*</b>	施設・設備の点検	
				食堂清掃・点検(奇	数月に保健部・生徒	保健委員で実施)			
<u> </u>	<b>거+</b> 六	·	≧に関する	保健部会 (毎月定例	)生徒生活委員会(	毎月定例)			
=		組織	战活動	学校安全 (保健) 委	員会		学校	安全(保健)委員会	
	(1	叶修	を含む)	PTAによる環境整	備 (学期ごとに実施)				
				熱中症予防に関する	研修、心肺蘇生法(	(AED) 研修			

10	11	12	1	2	3
学校祭を安全に行 おう	学校生活での安全 に気をつけよう	火災事故を防止し よう	安全な教室環境をつくろう	健康と安全に気を 付けよう	安全な生活の仕方を確認しよう
					-
けが等の予防、応 急処置の仕方	球技・器械運動に おける安全	スケート練習時にお ける安全	スキー練習時にお ける安全	スキー教室・球技 運動における安全	種目によって異なる 準備・整理体操の 違い
	(視覚、聴覚、触覚な □ → 音源歩行の習得)				
ど体験的な学習、問	題解決的な学習時の	安全(調べ活動・学習	における人との接した	、未体験の施設・設	備、乗り物等)
					<b>*</b>
修学旅行・遠足・ 社会見学における 安全	火災事故の対処の 仕方 避難経路の確認	暖房器具の適切な 使用の仕方	室温管理の仕方 地域の安全と防犯		春休みの安全な生活
		暖房と換気・衣服の	調節		清掃時の安全
修学旅行 (小・中) 学校祭 校外学習	避難(防災)訓練	もちつき スケート教室	防災の日	スキー教室 避難訓練	卒業式
防災設備の確認	避難訓練の確認	暖房器具の取扱い 確認	教室の整理確認 教室の自然換気 —	室内の環境調整	春休み中の安全
	-	降雪時における登下	校の安全確認 ――		<b>-</b>
	•				•••••
防災設備の点検照 度検査	暖房器具の安全点検	校内の施設・設備 の安全点検	室内環境の点検 ―	-	校舎内外の安全点検
				学校安全 (保健) 委	—————————————————————————————————————

# 学校安全計画例 特別支援学校 (聴覚障害)

項	目		月	4	5	6	7 • 8	9	
		月0	D重点	通学路の安全を確 認しよう	交通安全に気を付けて通学しよう	運動会を安全に成功させよう	夏休みを安全に過ごそう	交通安全について 確認しよう	
		教	保健体育	体育施設・設備の 使用	心肺蘇生法	プールにおける安全	人体のつくりと動き	救急法について	
	安		理 科	実験器具・試薬の取	双扱い方 (実験の際、	プリントによって安全	全指導の徹底を図る)		
	全	科	図工・美術	はさみ、カッターナ	イフ、のこぎり、金1	づち、くぎ、接着剤等	の使用		
	技術・家庭			電気工具や器具・調理器具の使用及び安全点検					
	習		自立活動	健康の保持、心理的な安定、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション 保有する感覚の活用 (聴覚、視覚、触覚などの感覚を十分に活用) 感覚の補助手段 (補聴器の有効な活用)					
		総	合的な活動	地域交流や地域にあ	おける調べ学習 (内容	、時間は実情に合わ	せて計画)		
			六洛中人		交通安全指導				
安			交通安全	通学指導 ————————————————————————————————————					
全	安全学		幼稚部	情緒の安定 日常生活における 安全 子ども110番の家	生活リズムの安定 遠足における安全 家に帰ってからの 安全	運動会への参加 校外学習における 安全	遊びにおける安全 遊具・玩具の後片 付け 誘拐されないため に	健康な生活と安全 校外学習における 安全	
教		学級	小学部	環境の把握 登下校時の安全 子ども110番の家	場所や場面に適応 した行動 遊びや行き帰りの 安全	運動会における安全	夏休みの安全な過 ごし方 (含防犯)	体育大会の練習時 における安全	
育	導	活動	中学部	交通安全と事故の 予防 誘拐などの犯罪被 害の防止	遠足における安全 自然体験活動にお ける安全	運動会における安全	夏休みの生活心得 (含防犯)	体育大会の練習時 における安全	
			高等部	通学方法と安全 集団行動と安全 身の回りの犯罪被 害の現状	遠足における安全 修学旅行における 安全	運動会における安全	夏休みの生活 (含防犯)	体育大会の練習時 における集団行動 と安全	
		学校行事等		入学式 新入生歓迎会 オリエンテーション	遠足 (保幼) 遠足 (中高) 修学旅行 (高) 自然体験活動 生活宿泊訓練	校外学習 (保幼) 体育大会	産業現場における 実習(高)	校外学習 (保幼)	
				運動部 (野球部、女前に安全指導の徹底		竞技部、卓球部)・文	化部 (美術工芸部) :	各部ごとに、部活動	
安		対	力管理	避難経路の確認 通学路の安全確認	避難訓練の確認	心肺蘇生法の確認	救急法の確認		
全				校内外巡回指導				<b></b>	
管理			↓₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	学校施設・設備・	防災設備の点検	プールの管理			
#	対物管理		J物官埋	遊具の点検	校内安全点検(毎月	) —	•••••	<b></b>	
2			とに関する	・学校安全(保健)	委員会 •	給食委員会 •	学校安全(保健)委	員会	
			職活動 ₹を含む) 	熱中症予防に関する	研修、心肺蘇生法	(AED) 研修			

10	11	12	1	2	3
文化祭を安全に成 功させよう	火災を予防し安全 に過ごそう	冬休みを安全に過 ごそう	暖房時の安全を確 認しよう	事故の防止につい て確認しよう	春休みを安全に過 ごそう
数急法 (消毒と止血)	救急法 (包帯)	救急法 (急病)	健康な身体 エイズとその予防	健康と安全	
		読み取る手段としての 青報を光に変え、それ	指文字や手話) 1を見ることによって理	別解する)	
	交通安全指導				
					<b>•</b>
コミュニケーション の確立 校外学習における 安全	避難訓練時の安全遠足における安全	室内での遊びの安全 一人で遊ばない	暖房器具付近における安全な過ごし方	友達との接し方	修了式 春休みの安全な過 ごし方
<b>遠足における安全</b>	火災時の避難の仕方	冬休みの安全な過 でし方 (含防犯)	スキー時における 安全	スキー教室における 安全な行動	卒業式 春休みの安全な道 でし方
修学旅行における 安全	避難訓練の知識 遠足における安全 な行動	冬休みの生活心得 (含防犯)	スキー時の安全	施設の安全な利用の仕方	卒業式 春休みの生活心得
産業現場等におけ る実習時の安全	火災時の初期消火 の仕方 遠足における安全	冬休みの生活 (含防犯)		卒業式	春休みの生活
地震避難(防災) 訓練 咬外学習(保幼) 修学旅行(中) 遠足(小)	火災避難(防災)訓練		スキー教室	スキー教室(小)	修了式 (保幼) 卒業式 (小中)
	選難訓練の確認	避難訓練の確認	  教室換気の確認		
		降雪時における登下			
					-
学校施設・設備の 点検	避難訓練の確認	暖房器具の点検・室	内環境の点検		学校施設・設備の 点検
	<u> </u>				

# 学校安全計画例 特別支援学校(知的障害高等部)

項	 	_		月	4	5	6	7 • 8	9
		月の	D重点		新しい環境に慣れよう	生活環境を把握しよう	プールでの事故に 気を付けよう	夏休みを安全に過 ごそう	危険を予測し安全 に過ごそう
			作業(木		木工室の使用	のこぎり等工具の 使い方	電気工具の使い方・	<b>*</b>	木工室の整理整とん
	安	教	生活学	単元 習	家庭科室の使用	調理器具の使い方	電気器具の使い方	調理実習の衛生と 安全	家庭科室の整理整とん
	全学	科	体	育	体育施設の適切な 使用	運動会練習時にお ける安全	運動会における安全	水泳の事故防止	器械運動における 安全
	子習		保	健	健全な男女交際	けが等の予防	救急法	1 学期のまとめ	応急処置の仕方(消 毒・包帯)
安		朩	ームル 活動		通学における交通 安全	男女交際の在り方	火災時の避難の仕方	性的被害の予防	命の尊厳
			通学指	導	・通学指導と通学観 ・駅からのバス通学		生の帰省指導)		
全教	安全	ホ	1	年	通学の安全 子ども110番の家 誘拐等の防止	避難経路を知る	火災の予防 校内実習時の安全 水泳の安全 宿泊学習における 安全	夏休みの生活と安全(含防犯)	交通事故の予防
育	指導	ームルーム活動	2	年	2年生になって 通学の安全 子ども110番の家	避難経路を知る	火災の予防 産業現場等におけ る実習の安全 宿泊学習における 安全	夏休みの生活と安全(含防犯)	夏バテ予防と応急 手当
			3	年	3年生になって 通学の安全 子ども110番の家	避難経路を知る	火災の予防 宿泊学習における 安全	夏休みの生活と安全(含防犯) 運動不足と成人病	けがをしたときの 応急手当 修学旅行における 安全
	'	学	校行事	等	入学式	健康診断	運動会 火災避難(防災) 訓練(消防署招来) 産業現場等におけ る実習 宿泊学習		修学旅行(3年)
安		文	力管理	₫	疾病のある生徒の 把握 (発作・運動 制限)	救急体制の見直し	健康観察の徹底心肺蘇生法の確認	夏休み中の事故防止	健康観察の徹底
全管					施設・設備点検 机・いすの点検	便所・洗面所の衛 生管理・点検	プール水質検査 ―	<b>&gt;</b>	飲料水検査
理		文	<b>力物管</b> 理	1		避難経路の点検		期末大掃除	掃除
					安全点検(通年)	I	I	安全点検・修理報告	防災関係設備点検
<u>-</u>			上に関す 強活動	ける		・学校安全 (保健)委員会	・職員研修会 (救急救命法)	I	・学校安全(保健) 委員会
			を含む	5)	保健安全部会(毎月	) PTA・地域との選	車携	•	

10	11	12	1	2	3
実習時の安全に気 を付けよう	火災を予防し安全 に過ごそう	冬休みを安全に過 ごそう	快適な環境を維持 しよう	教室環境の管理を しよう	春休みを安全に過 ごそう
木工材料の取扱い (切断・研磨等)	-	集塵器使用と暖房 と換気	木工材料の取扱い (組み立て等)	-	接着剤・塗料の使用と換気
ガスコンロの使い方	調理実習の衛生と 安全	電磁調理器等の使い方	調理実習の衛生と 安全	もちつきにおける衛 生と安全	家庭における調理 器具の確認
サッカーにおける安全	ミニホッケーにおけ る安全	スキー練習時の安全	スキー練習時の安全	スキー教室における 安全	バスケットボールに おける安全
健康管理と運動の 関係	校外における異性 との接し方	2 学期のまとめ	健康管理と運動の 関係	一人で行動するとき の心構え	3 学期のまとめ
地震時の対応と避 難の仕方	助け合って生きる	火災への対応 (初期消火)	知らない人からの 誘いへの対応	地震火災時におけ る避難の仕方	自転車の安全な乗 り方
地震への対応	火災予防と安全 校内実習の安全	冬休みの生活と安全	冬の安全対策	避難訓練の徹底 教室の整理整とん	身体の健康
地震への対応 産業現場等におけ る実習の安全	火災予防と安全	冬休みの生活と安全	タバコの害	避難訓練の徹底 寒さに負けない体 づくり	身体の健康
地震への対応	火災予防と安全タ バコの害	冬休みの生活と安全	日常生活と健康管理	避難訓練の徹底 社会に出るに当たって	卒業を控えて
地震避難(防災) 訓練 産業現場等におけ る実習	学芸会		防災の日	地震火災避難 (防災)訓練 スキー教室	卒業式
		冬休み中の事故 防止	健康観察の徹底		健康管理の反省春休み中の事故防止
		降雪時における登下	校の安全確認 ―――	<b></b>	
照度検査	飲料水検査		教室の自然換気・CC	2濃度検査	健康管理の反省
				照度検査	
掃除		期末大掃除	清掃		期末大掃除
		安全点検・修理報告			防災関係設備点検
				・学校安全(保健)	<u> </u>

# 2 安全点検表の例

〈安全点検表の例 1 〉 校 長 教 頭 事務局 担当主任

点検:	場所	安全点検表	(	年度	E)				
場	22071		点	検結果	0	×	不良箇所	処理	点検
所		点 検 項 目		/	/	/	(程度)	月日	者印
	1	机・椅子は破損していないか							
	2	床は、すべりやすくないか、また破損箇所はないか							
<b>≠</b> F-	3	窓や戸の開閉に支障はないか、また破損はないか							
教	4	電気器具の故障はないか(コンセント等も含む)							
室	5	照明器具が破損したり、落下の恐れはないか							
	6	床・壁・柱・戸等に釘・画鋲等が出ていないか							
特	7	壁にかけた物や吊り下げた物が落下する危険性はないか							
別	8	掲示物などに危険はないか							
教	9	カーテン・レールの破損はないか							
室	10	戸棚類の引き戸・引き出しがスムーズに開閉できるか							
	11	棚の上の物は安全に保管されているか							
進	12	戸棚類が倒れる危険性はないか							
備	13	室内の整理整頓はよいか							
室	14	刃物(はさみ・包丁・針)は定位置に保管されているか							
	15	必要な箇所の施錠が確実にできるか(出入り口及び戸棚類)							
等	16	薬品・薬品戸棚の整理・保管はきちんとできているか							
	17	ガス栓・ガスの配管などに故障はないか							
	18	換気装置に異常はないか							
	1	器具に破損はないか							
流	2	排水口はつまっていないか							
と 等	3	流し槽は清潔に保たれているか							
₹	4	すべりやすい状態ではないか							
	1	通行の妨げになるものが放置されていないか							
廊	2	すべりやすく危険なところはないか							
下	3	くつ箱が倒れる危険はないか							
等	4	非常口は非常の場合すぐに開放できるか							
	5	扉・引き戸はスムースに開放できるか							
	1	ドア・戸口の鍵は破損していないか							
<b>-</b>	2	床・足場はすべりやすくなっていないか							
	3	便器・シャワー等の器具の破損、水漏れ、排水不良はないか							
1	4	窓枠、窓ガラスの破損はないか							
レ	5	洗濯機・乾燥機などの異常・故障はないか							
等	6	シャワー・ガス・湯沸器などの異常・故障はないか							
	7	換気装置に異常はないか							
グ	1	遊具などに危険な箇所はないか(ネジ・手すりの破損)							
グランド	2	周囲に危険な物が落ちていないか(ビン・缶の割れ物等)							
, ド 等	3	自転車置場がきちんと整頓されているか							

# 〈安全点検表の例2〉

# 安全 点 検 表

			_						校長	教 頭	事務局	担当主	任	
年月日	年	月	日		点検	者				印				印
弘備.	器具名	設置 取得	メカー	点検事項	Ļ	反検	結身	Į.	hn Fi	里方法・	<b> 依</b>	一次	備	考
AX VA	证六石	年 月日	設置業者	点 恢 事 填	正常	調整	塗装	撤去	Xu.	E.刀 伝 ·	70000000000000000000000000000000000000		1/111	ち
				1 金具周辺の床の凸凹										
				2 金具の変形										
床	金 具			3 開閉不良										
				4 固定ビスの突出、脱落										
				5 金具内部ゴミ										
				1はり取付金具のゆるみ斜下										
				2 / 真横						, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
バスケッ	・トゴール			3ブレース (筋違) のゆがみ										
				4 巻金具 滑車										
吊	上 式			5 / ワイヤー										
				6 / ウインチ										
				7接続ボルトのゆるみ										

# 平成 年度 安全点検カード

									校 長 教 頭 事務局 担当主任
	L 42 0 15 1	方法	去	点	検	実 邡	色 月	日	チェックポイント
	点 検 の 項 目	报						A	<b>(A)</b> 1
	回施塔					}			
ア	支柱にぐらつき、接地部分に損傷、腐食はないか。	报				~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			# # # # # # # # # # # # # # # # # # #
イ	回転部に油切れや損傷はないか。	H 振	負			3			7
ゥ	フックや鎖に磨耗や損傷はないか。	占振	負			3			
エ	溶接部分に損傷や腐食はないか。	目振				\{\{\}\}			
才	ボルト・ナットにゆるみや損傷はないか。	目 振				\{\{\}\}			
カ	周辺に危険物はないか。基礎コンクリートが露出し ていないか。	Ħ				3			設置年月日設置業者製造業者
	使 用 (可・不可)		•			\{\} \{\}			処置内容、方法及び完了日
	のぽり棒(ハントウ棒)					\{\{\}\}			チェックポイント
ア	支柱にぐらつき、接地部分に損傷、腐食はないか。	目振							<b>▶</b>
1	支柱とのぼり棒のつなぎ目に損傷や腐食はないか。	目振							7
ウ	のぼり棒にささくれやわれはないか。	11				3 3			
エ	のばり棒が固定されているか。	目振							
才	ジョイント金具に損傷はないか。	目振				\{\{\}\}			
カ	周辺に危険物はないか。基礎コンクリートが露出し ていないか。	П							7
						122			設置年月日 設置業者 製造業者
	使 用 (可・不可)					3 3			処置内容、方法及び完了日
	雲 て い								チェックポイント
ア	支柱にぐらつき、接地部分に損傷、腐食はないか。	目振				15.5			The state of the s
1	接合部分に損傷や腐食はないか。	H 振	打			3 2			H L's H
ウ	握りバーに損傷はないか。	H 振	打						
ı	周辺に危険物はないか。基礎コンクリートが露出していないか。	E							設置年月日 設置業者 製造業者
	使 用 (可・不可)								処置内容、方法及び完了日

### 備考

点検の方法 (方法欄)

○目:「目視」→ゆがみ、亀裂、磨耗、腐食、異物の有無等についてのあらゆる角度から注視する。

○打:「打音」→金づち等とで叩いてぐらつき、損傷、腐食等をみる。

(腐食の状態を調べるときには、金づちの先のとがった部分で叩いてみる。)

			,		占	検:	主: 1	<b>本</b> F			
	点 検 の 項 目		打	-	1/	17	17 0	) /	1/	1/	
-	マニンロ (並 宮の利)	振	負		<del> </del>	<del> </del>					チェックポイント
7	ブランコ (普通の型)	Ħ	打				T2 ;				
ア	支柱にぐらつき、接地部分に損傷、腐食はないか。	振目	負	-							(TT (0) 7
イ -	回転部に油切れや損傷、磨耗はないか。	振目					}				
ウ	くさりに磨耗や損傷はないか。		11								
エ	腰かけ部分に損傷はないか。	11					13 3				
オ	周辺に危険物はないか。基礎コンクリートが露出していないか。	FI						)			エウ
カ	設置場所は十分な面積をとっているか。	Ħ					}	) ) )			# <sub>7</sub> #
											20 00 to 10 pp 20 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
											設置年月日 設置業者 製造業者
	使 用 (可・不可)										処置内容、方法及び完了日
	アスレチック遊具(らんぐい)	目 振					13				チェックポイント
ア	「くい」の地面との設置部分は腐食はないか。	目振	負				13				
1	「くい」にぐらつきや損傷、腐食はないか。	Ħ						)			
ウ	「くい」の間隔は適当か。	П									7
エ	周辺に危険物はないか。						1				設置年月日設置業者製造業者
	使 用 (可・不可)						\frac{1}{5}				処置内容、方法及び完了日
	コンビネーション遊具						$\left\{ \left\{ \right\} \right\} $				d 10 10 1
ア	支柱にぐらつき、接地部分に損傷、腐食はないか。		打負								チェックポイント
イ	接合部分、鉄製部分に損傷や腐食はないか。	月 振	打負								<b>A</b> 1
ウ	おどり場の手すり、つなぎ手にぐらつき、損傷、腐食ないか。		打負								7
エ	くさり、つり具に磨耗や損傷はないか。	日振	負				1				
オ	滑走面にささくれや突起物はないか。	Ħ									
カ	滑走面に変形していないか。	H									,
+	周辺に危険物はないか。基礎コンクリートが露出していないか。	B					3	)			設置年月日設置業者製造業者
	使 用 (可・不可)						\{\{\}\}	0			処置内容、方法及び完了日

○振: 「振動」→揺り動かすなどして振動を加えてみる。 ○負: 「負荷」→ぶらさがる、押す、引く、ねじるなどして負荷を加える。

	点 検 の 項 目	方法	点検実施月日	
	点検の項目	目 打振 負		
	バレー支柱・ネット			チェックポイント
ア	ネットを張った状態で支柱が垂直になっているか。	目	\$	
1	巻滑車の損傷はないか。	負		
ウ	支柱昇降装置にぐらつきや損傷がないか。	目 振 負	}	
エ	フックの損傷はないか。	B	\$	
オ	ネット張り装置にぐらつきや損傷はないか。	日 振		<i>h</i>
カ	ネット巻ハンドルの損傷はないか。	B		
+	底ゴムの損傷がないか。	B	3	W
ク	ネットワイヤーにほつれや損傷がないか。	Ħ	\$ }	
			\$	設置年月日 設置業者 製造業者
	使 用 (可・不可)		\$	処置内容、方法及び完了日
	バスケットゴール(吊上式)			d 19 1 1
ア	本体取付け部のボルト、ナットにゆるみはないか。	自負	}	チェックポイント
イ	バックボード、リングの取付部ボルトにゆるみがないか。	B		7 7
ウ	ブレース(筋違い)にゆがみや損傷がないか。	目		***************************************
エ	接続金具のゆるみや損傷がないか。	目負	}	
オ	溶接部分に損傷がないか。	B	}	
カ	バックボードに損傷がないか。	E	\$	
牛	リングの取付部に損傷がないか。	Ħ	3 3	
ク	チェーン、ターンバックルのゆるみや損傷がないか。	目負	}	
				設置年月日 設置業者 製造業者
	使 用 (可・不可)			処置内容、方法及び完了日

# 安全点検集計及び措置一覧表

施設区分					_					校長	E	[]	-	印		印
点検年月日					点	検	者	名								
施設名	設 置年月日	取 得年月日	設業	置者	点	検	結	果	措置の方法	指 4	計 置		備		考	
							•									
				-												

### 〈安全点検表の例5〉

# 安全点検集計表

							1	校長	印	自	]	印
点検年月日							点検集計	者	h			
施設設備	取得設置年月日	設置業者	点	検	結	果	措置を	要す	る内容と	対策	事後措置的	年月日
											-	
~~~~~			~~~~~		^^^	00000		000	000000	20000		
******												

# 〈安全点検表の例6〉

# 学校安全点検措置一覧表

重 類	定	期	蹈	時	日	常		施	設	措	İ
<b>(検年月日</b>	平成	年	月	日 (	)	時	措置者名	設	置		
施設・設備名	事	後	措	置	状	況		責任:	者名	月	
						<del></del>					

# 3 児童生徒の引き渡し票(例)

各学校で使いやすいように工夫してください

_		ふりがな							性別		
年	組	氏名							血液型		
	Ŧ					自宅電話	番号		(	)	
						自宅以外	連絡先①	名称			
現住所						電話番号			<u> </u>	_	
						自宅以外	連絡先②	名称			
						電話番号			_	_	
保護者氏	名	氏名				•	氏名				
			年	組	氏名						
本校在学	生の兄弟	等	年	組	氏名						
			年	組	氏名						
児童生徒	の引受人	(児:	童生徒を延	見えに来る	人、保護和	<b>当以外の人</b>	(も含む)				
		氏名		本人と	の関係	電話	番号	徒歩で	学校に来る 所要時間	らまでの	引渡確認
1											
2											
3											
4											
5											
				引き	き渡し	時の記	己載				
引渡	日時	月	日 時	引渡	場所	教室・	校庭•体育	育館•避難剤	听∙その他	(	)
引渡者(	の氏名(職	員氏名)									
引渡	後の	引受人氏	名			自宅 電	話番号		(	)	
連組	洛先					携帯『	話番号				

<sup>※</sup>緊急引き渡しカードは非常持ち出し袋等に常時保管する

# 4 様々なハザード情報

# (1) 防災情報等のホームページ

# ① 自然災害

機関名	タイトル	内 容 等
気 象 庁	防災気象情報 http://www.jma.go.jp/jma/menu/flash.html	防災気象情報全般へのリンク。このページのリンク先から気象警報や台風情報、大津波警報等の各種防災気象情報が入手できます。
国土交通省	パソコン版 http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/	気象警報、津波警報、河川の情報、レーダー等の 情報を入手できます。
防災情報提供センター	携帯電話版 http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/ i-index.html	一般携帯電話で上記の情報を入手できます。
海上保安庁	沿岸域情報提供システム http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/	沿岸(灯台)の気象データや波浪データ、気象警報、津波警報、海難事故等の情報が入手できます。
	青森県防災ホームページ http://www.bousai.pref.aomori.jp/	青森県の災害情報や防災対策、過去に発生した災 害の情報などを入手できます。
	青森県河川砂防情報提供システム http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/	青森県の洪水予報や雨量、河川の水位等の情報が 入手できます。
± * 'B	青森県土砂災害警戒情報システム http://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/	青森県の土砂災害警戒情報等が入手できます。
青森県	青森県県土整備部河川砂防課ホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/ tunami-yosoku.html	「津波浸水予測図」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したもので、適切な避難をするのに必要な津波の危険度、避難場所・避難経路及び避難の判断に役立つ情報を住民に提供する「津波ハザードマップ」等を市町村が作成する検討資料となっています。
各市町村	津波ハザードマップ ※各市町村ホームページを参照(青森県沿岸 に位置する22市町村の内、平成25年度中に 12市町村で作成予定)	「津波ハザードマップ」は、各市町村が津波浸水 予測図に基づき作成するもので、津波災害時にお ける被害を最小限度にくい止めることを目的とし、 予想される浸水の程度や避難情報等の各種情報を 分かりやすくマップに表示して、緊急時の避難に 役立てるものです。
NTT東日本	災害用伝言ダイヤル http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/	地震や噴火などの災害発生時に開設される「災害 用伝言ダイヤル」の利用方法や体験利用などが掲 載されています。
	災害用伝言板(web171) http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/	災害用伝言板(web171)は、インターネットを利 用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

### ② 原子力災害

機関名	タイトル	内 容 等
原子力規制委員会	緊急時情報ホームページ http://kinkyu.nsr.go.jp/	原子力施設立地地域で大規模災害等が発生した際 に、地域住民をはじめとした国民に向け、迅速に 情報提供がされます。
青 森 県	青森県環境生活部原子力安全対策課 ホームページ http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/	「リアルタイム空間放射線モニタリング情報」等、 青森県の原子力安全対策に関する情報が入手でき ます。

# ③ 救命処置

	機関名	タイトル	内 容 等
	日本赤十字社	一次救命処置「心肺蘇生」と「AED」	いざという時に役立つ「心肺蘇生」と「AED」
l	青森県支部	http://www.aomori.jrc.or.jp/news/news_sub.html	について学べる動画が掲載されています。

# (2) 防災教育の参考となるホームページ

機関名	タイトル	内 容 等
気 象 庁	気象等の知識 http://www.jma.go.jp/jma/menu/knowledge. html	気象や地震・津波、火山等の基礎知識や、気象観測 や天気予報などに関する解説が掲載されています。
×1 3× /]	「災害から身を守ろう」 http://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu_ portal/index.html	竜巻、雷、津波、地震、大雨などから身を守るための知識や行動についての解説やビデオが集約されて掲載されています。
国土交通省	土砂災害から命を守る防災教育 http://www.mlit.go.jp/river/sabo/dshakyouiku. html	砂防についての基礎知識や対策、実際の土砂災害の映像、各地域で作成される土砂災害に関する副 読本などが紹介されています。
内 閣 府	みんなで防災 http://www.bousai.go.jp/kyoiku/minna/index. html	市民や学校向けに防災対策の基本や津波対策、学校や地域活動での防災取り組み、防災ボランティアなど防災に関する様々な取り組みやノウハウが掲載されています。
消防庁	防災危機管理eカレッジ http://open.fdma.go.jp/e-college/index.html	地震や津波などの基礎知識や災害への備え、地域 防災の実践などについて学ぶことができます。災 害対策に関する内容をより専門的に学ぶための コースもあります。
泪 奶 厅	チャレンジ防災48 http://open.fdma.go.jp/e-college/bosai/main/ main.html	「小学校低学年」「小学校高学年」「中学生以上」の3つの年代別に、災害時における身の安全の確保や救出・救助などの実践的な防災活動について学ぶことができます。
独立行政法人 防災科学技術 研 究 所	自然災害を学ぶ http://www.bosai.go.jp/activity_general/	気象や地震、火山などによる自然災害の基礎知識 や児童・生徒向けの自然の謎について学ぶことが できます。
防 災 教 育 チャレンシ プ ラ ン 実 行 委 員 会	防災教育チャレンジプラン http://www.bosai-study.net/top.html	学校や地域が取り組む防災教育を支援する活動を 行っており、防災教育の事例集や素材などが紹介 されています。
阪 神・淡 路 大震災記念 人 と 防 災 未来センター	防災キッズミュージアム http://www.dri.ne.jp/kids/index.html	子ども向けに災害や地震についての基礎知識が紹介されています。
一般財団法人 消防科学総合 センター	消防防災博物館 http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/ index.cgi	災害や防災に関する基礎知識を学ぶことができるページや、被災地の被害状況や対応の様子などの写真を閲覧できるデータベースが掲載されています。
静 岡 県	災害図上訓練DIGのページ http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/ manabu/dig/index.html	災害図上訓練についての基礎知識の解説や応用し た取組などについて紹介されています。

#### 応急手当等資料 5

# ·次救命処置(BLS)

胸骨圧迫のみの心肺蘇生 (CPR)とAED

入門編

# 「人が倒れている」近づくその前に

- ●周囲の安全を確認する(2次事故防止)
- ●傷病者の状態を確認する(大出血の有無など)

# 1 意識を確認する

●肩を叩いて、声をかける

# 2 協力者を求める

- ●119番通報
- ●AEDの手配





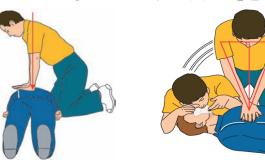
# 3 呼吸をみる

●10秒以上かけないで、胸とお腹をみて、 普段どおりの呼吸があるかを確認する



# 4 胸骨圧迫を30回

- ●「胸の真ん中」を垂直に押し下げる
- ●圧迫の深さは「少なくとも5cm」
- ●圧迫の速さは「少なくとも100回/分」
- ●圧迫は「強く・速く・絶え間なく」を意識する



※人工呼吸ができる場合は、実施します。





- ●電源を入れる。
- ●音声に従う。
- ●電極パッドをはる。
- ●ショックボタンを押す。





# ガイドライン2010に基づく緊急対応

# ★ただちに救急車要請が必要な7つの傷病

- 1.意識がおかしい(意識がない、応答が正確でないなど)
- 2. 気道閉塞(のどに何か詰まっているようだ)
- 3.呼吸がおかしい(自分=救助者の呼吸と違う)
- 4.心停止(胸を抑えて苦しがっている、喘いでいる)
- 5.大出血(血がたくさん出ている)
- 6.ひどい熱傷(①両腕相当以上の範囲に熱傷、または、
  - (2)範囲は狭いが皮膚が焦げているなど、程度がひどい場合)
- 7.**中毒**(食中毒、薬物中毒など。~中毒と呼べるものすべて) **その他要請する必要があるもの**

アキレス腱の断裂の場合、うつ伏せで搬送する必要があるため。

# ★救急車を呼ぶのは誰か?

傷病者を観察し、上記の状態にあると判断した人が、直ちに要請する。

- ⇒ ※管理職が要請するとは限らない。
- ★いつ一次救命処置をやればいいか?
- ★いつAEDを使えばいいか?
  - 1. 意識がおかしい
  - 2. 呼吸が普段通りではない
- ★判断に迷ったら? 「119番して、口頭指導を受ける」

#### 6 地震•津波資料



# 緊急地震速報って?

緊急地震速報は、

地震による強い揺れを事前(揺れる前)にお知らせするための情報です。



- 地震発生場所に近い地震計で地震波(P波、初期微動)をキャッチ
- 気象庁で、震源や規模、予想される揺れの強さ(震度)等を自動計算
- 地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる前に素早くお知らせ(緊急地震速報を発表)
- 家庭や工場、集客施設、交通機関などで、見聞きした一人一人が自らの身を守るためなどに活用
- ※ 緊急地震速報は、平成 19 年 12 月 1 日から地震動の警報と予報として位置づけられています

# 緊急地震速報は、どうやって聞くことができるの?





テレビ・ラジオ

● テレビやラジオ※1を視 聴している時に、報知 音※2とともに放送され ます



● 緊急地震速報を受信し、 報知音※2で知らせる携 帯電話があります



● 市町村※1の防災行政無 線から報知音※2ととも に伝えられます



●受信端末※3などでは、 気象庁が発表する警報 や予報のほか、独自に 個別地点の震度などを 予想し、報知します

- ※1 準備の整った放送局や市町村(全国瞬時警報システム(J-ALERT)を利用)から放送が開始されています※2 緊急地震速報専用の報知音があります。音を覚えて、その音を聞いたらとっさに身を守る行動をとれるようにしておきましょう※3 緊急地震速報を受信し、音声報知や機器の制御を行うための装置

# 緊急地震速報の管は、どういう時に鳴るの?

- 緊急地震速報は、地震により予想される震度が5弱を超えた時に発表され、テレビやラジオ、防災行政無線、 携帯電話端末で報知音が鳴ります
- ◉ 受信端末などでは、利用者が独自に設定した基準を、予想する震度が超えた時に報知音が鳴ります

#### ご利用にあたって

- ★ 余震が多く発生している時など緊急地震速報を適切に発表できないことがありますが、速報が発表されると きにはどこかで地震が発生していますので、身を守る行動をとって強い揺れに備えて下さい
- ★また、速報が発表されていなくても、地震の揺れを感じた時は身を守る行動をとって下さい
  - ●震源に近い地域では速報の発表が強い揺れに間に合いません
  - ●速報の発表が遅れたり発表できないことがあります

●予想する震度には±1程度の誤差を伴います

●地震活動が活発なときなど、ほぼ同時に発生する 複数の地震を区別できず、適切な内容で速報を発表 できないことがあります

#### ・・・ ご注意ください!・◆・

気象庁が、国民のみなさまに受信端末の設置を義務づけたり、直接設置に伺ったりすることはありません!

◉ 緊急地震速報は、公益財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発と、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果により可能となりました

[お問い合わせ先]



気象庁 地震火山部管理課 〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号 電話: (03)3212-8341(代表) FAX: (03)6689-2917(耳の不自由な方向け) http://www.jma.go.jp/

詳しくは



気象庁 緊急地震速報



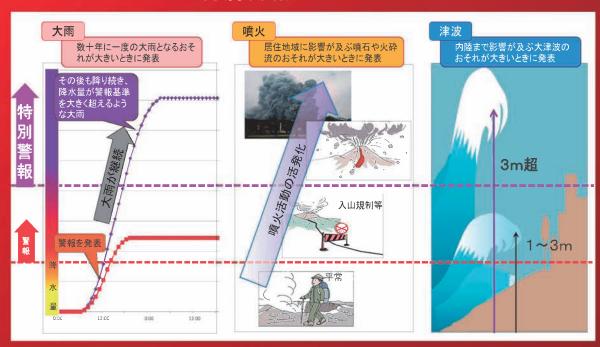
このリーフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。

# 特別警報は、これまでにない危険が 迫っていることをお知らせします

# 特別警報が発表されたら

- ·尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

# 特別警報のイメージ



# 特別警報に相当する過去の災害



# 普段からの備えと早め早めの行動が あなたや身近な人の命を守ります

# 災害から身を守るために(大雨の場合)

### 普段から…

#### 気象情報・空の変化に注意

大雨になるおそれ 雨が降り出す







- ・周りより低い場所など、危険箇所を把握
- ・避難場所や避難ルートを確かめておく

雨が強くなると…

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を 雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動!

注意報





- ・気象情報や外の様子に注意
- ・非常用品や避難場所、避難ルートを確認
- ・災害に備えて、家の外の備えを点検

雨が降り続くと…

自治体が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難

警報









らに激しい 雨が続くと…

# ただちに命を守る行動をとる

非常事態 市町村からの避難

市町村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難! 外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動

特別警報





「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている 状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異な りますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守る ことができる行動を考えておきましょう。

# Point 冷静な判断が大事です 周囲の状況に応じた行動を!

受水の (は) 変元 非常に危険!

- · 「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの 行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

気象庁ホームページより http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keiho/index.html

から命を守るために



### 知っておこう! 津波からにげるために





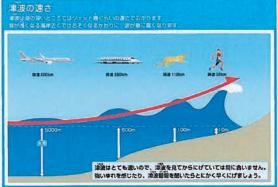




# **知っておこう!**津波のとくちょう







# 話し合おう! 津波からの避難場所



津波からの遊離場所を知っていますか? 家やよく遊ぶところから遊離場所まではどうやってにげればいいか知っていますか? まわりの人に聞いたり、話し合ったりしてみましょう。

### 津波の標識

津波の伝統 津波のおそれがあるところには、津波避難場所などがわかる根縁があります。 海の近くへ行った時はさがしてみましょう。

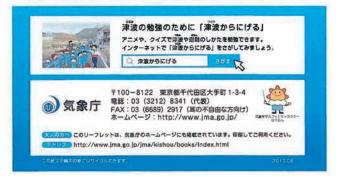




### 津波警報·津波注意報

大津液管根、津波管根の時は、すぐに高いところへにげてください。

連続注意報の時は、海や川の中にいる場合はただちに上がって、海摩や川岸からはなれてください。

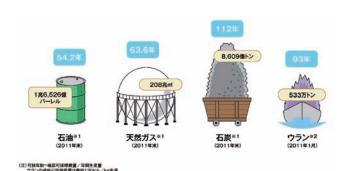


# 7 原子力の知識と安全対策

### (1) エネルギーとは

エネルギーには様々な種類があり、自動車などの燃料や電気など身の回りで幅広く使われていますが、わたしたちの国では、エネルギーの多くを石油や石炭などの化石エネルギーに頼っています。石油や石炭などの資源は、地球のある特定の地域でしか採れないため、そのほとんどを外国から輸入しています。また、その資源には限りがあり、例えば、石油の場合には、このまま使いつづけてあと54年分くらいの量しか確認されていません。(図1・2)もちろん、今後新たな油田や鉱山の発見の可能性もありますが、いずれにしても限りある資源です。

さらに、石油や石炭などを燃やすと発生する二酸化炭素や硫黄酸化物などは、地球温暖化や酸性 雨などの原因となります。

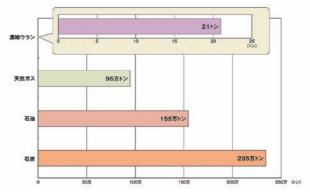


(2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 出版制度2.500-40-80 (2) 19-1/(-10<sup>1</sup>-1) 
引用:原子力・エネルギー図面集

【図1】 世界のエネルギー資源確認埋蔵量

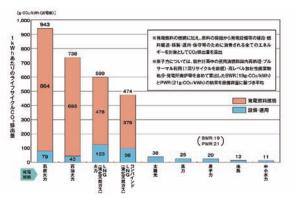
【図2】 日本の一次エネルギー供給実績

ウランなどを燃料とする原子力エネルギーは、石油などに比べてごく少ない量で大きなエネルギーを得ることができます。また、ウラン資源には限りがありますが、一度使った燃料をリサイクルして長い期間使いつづけることができます。さらに、二酸化炭素や硫黄酸化物も発生しません。(図3・4)



引用:原子力・エネルギー図面集

【図3】100万KWの発電所を1年間運転するために必要な燃料

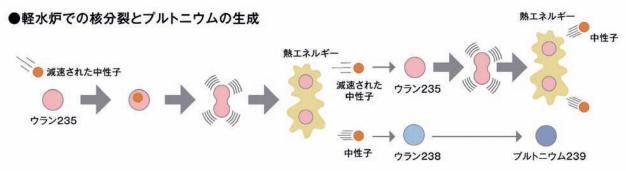


引用:原子力・エネルギー図面集

【図4】 各種電源別のライフサイクル $CO_2$ 排出量

### (2) 原子力とは

原子力発電所の燃料として使われるウランの原子核は、外から中性子が入ると、原子核が壊れ2つに分かれます。これを核分裂といい、そのときにたくさんの熱がでます。(図5)

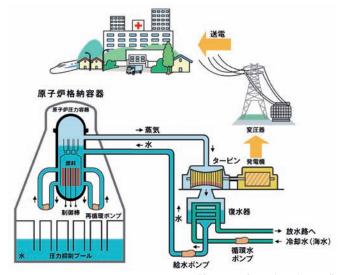


【図5】 軽水炉での核分裂とプルトニウムの生成

引用:原子力・エネルギー図面集

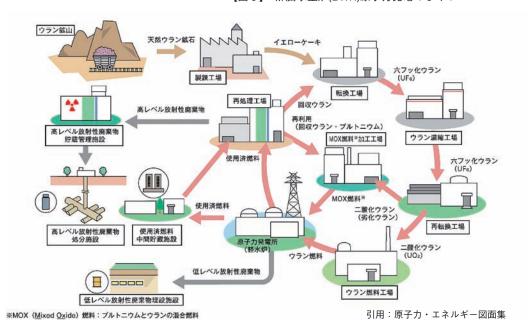
原子力発電所では、核分裂により燃料 で発生した熱で蒸気を作り、この蒸気で タービンを回して発電します。(図6)

また、原子力発電所で使用するウラン燃料の製造、使用後のウラン燃料のリサイクル、放射性廃棄物の処理処分などの一連の流れを原子燃料サイクルといい、主要な原子燃料サイクル施設として、ウラン濃縮施設、再処理施設、低レベル放射性廃棄物埋設施設、高レベル放射性廃棄物管理施設などがあります。(図7)



引用:原子力・エネルギー図面集

【図6】 沸騰水型炉(BWR)原子力発電のしくみ



【図7】 原子燃料サイクル

### (3)「放射線」と「放射能」の違いと影響

### ① 放射線? 放射能?

「放射線」とは、目に見えない光線のようなものであり、原子核が壊れるときなどに放出され る高速の粒子や高いエネルギーをもった電磁波のことです。

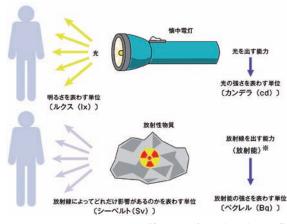
また、この放射線を出す能力のことを「放射能」といい、放射能を持つ物質のことを「放射性 物質」といいます。(図8)

放射線や放射性物質は、人間が原子力の利用を開始したことによって初めて生まれたものではな く、地面や食べ物などにも含まれており、我々は日常生活の中でも絶えず放射線を受けています。

### ② 放射線の種類と特徴

放射線にはいくつかの種類があり、それぞれ透過力(物を通過する力)に違いがあります。ア ルファ線は、透過力が弱く、一枚の紙でも止まってしまいます。ベータ線はやや強く、ガンマ線 は鉛や厚い鉄板でやっと止まります。中性子線は、さらに通り抜けますが、水や厚いコンクリー トで止めることができます。(図9・10)

電灯にたとえると、電球から出る光が放射線で、電球が放射性物質になります。電球が光りを出す能力が放射能にあたりま す。電球から離れると光が弱くなるように、放射線も距離をおくと弱まります。



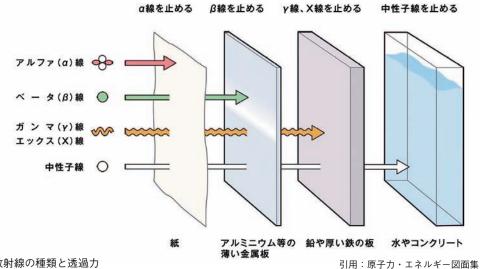
引用:原子力・エネルギー図面集

名 称 単位名(記号) 放射能の単位 国際単位系(SI) 放射能 ベクレル(Bq) 1秒間に原子核が崩壊する数を表す単位 放射線量の単位 国際単位系(SI) 放射線が物や人に当たったときに、どれくらいの エネルギーを与えたのかを表す単位 1Gyは1kgあたり1ジュールのエネルギー吸収 があったときの線量 吸収線量 グレイ(Gy) 放射線が人に対して、がんや遺伝性影響のリスクをどれぐらい与えるのかを評価するための単位 (1シーベルト=1000ミリシーベルト) シーベルト(SV) エネルギーの単位 放射線等のエネルギーを表す単位 (1eV=1.6×10<sup>-19</sup>J) エレクトロンボルト/ 電子ボルト(eV) エネルギー

引用:原子力・エネルギー図面集

【図8】 放射能と放射線

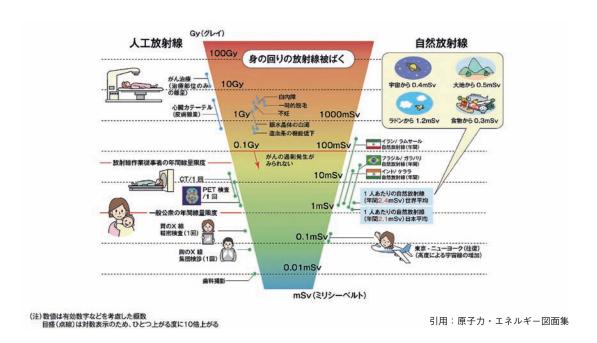
【図9】 放射線に関する単位



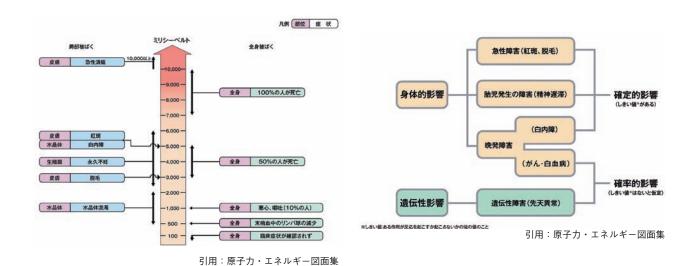
【図10】 放射線の種類と透過力

### ③ 放射線と体への影響

我々は、普段の生活の中でいろいろな放射線を受けています。それは、自然界に元々ある放射性物質からや宇宙から飛んでくる自然放射線からです。また放射線には、病院などで使う人工放射線があります。普段受けている程度の放射線の量なら身体に影響はありませんが、事故などにより一度にたくさんの量の放射線を受けた場合は、体に深刻なダメージを与えることになります。(図11・12・13)



【図11】 日常生活と放射線



【図12】 放射線を一度に受けたときの症状

【図13】 放射線の人体への影響

### (4) 原子力災害と安全・防災対策

### ① 原子力災害とは

原子力発電所や原子燃料サイクル施設等、原子力施設の万が一の事故で、大量の放射性物質が放出された場合、その周辺地域に被害をもたらすおそれがあります。放射性物質から放射線を受けることを「被ばく」といい、原子力災害は「被ばく」を伴うため、地震、水害、火災などの一般災害と比べて、次のような大きな違いがあります。したがって、専門家の判断に基づいた国や自治体の指示に従って行動することが大切です。(図14)

- ア 放射線による被ばくが五感に感じられない。(見えない、聞こえない、臭わない等)一方、放射線測定器等により極めて感度良く計測が可能である。
- イ被害の程度を自ら判断できない。
- ウ 災害に対処するためには、放射線などに関する知 識、技術を必要とする。

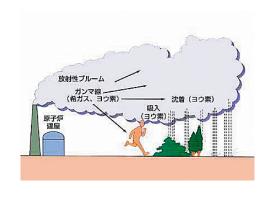
事故の際、原子力施設から放出された放射性物質から出される放射線を身体の外部から受けることを「外部被ばく」といい、放射性物質を直接吸入したり沈着により汚染した食物等を摂取した場合に、身体の内部に取り込んだ放射性物質から放射線を受けることを「内部被ばく」といいます。(図15)

原子力施設の主な事故の例として以下のものが挙げられます。



引用:原子力防災対策の取り組み 平成20年12月文部科学省

【図14】 原子力災害の特徴



引用:原子力防災対策の取り組み 平成20年12月文部科学省

【図15】 放射性雲(プルーム)と被ばく

### [原子力発電所の例]

原子力発電所においては、多重の物理的防護壁が設けられていますが、これらの防護壁が機能しない場合は、放射性物質が周辺環境に放出することが想定されます。その際、大気へ放出の可能性がある放射性物質としては、気体状のクリプトンやキセノン等の希ガス、揮発性のヨウ素、気体中に浮遊する微粒子状の放射性物質があります。これらは、気体状又は粒子状の物質を含んだプルームとなり、移動距離が長くなる場合は拡散により濃度は低くなる傾向があるものの、風下方向の広範囲に影響が及ぶ可能性があります。また、特に降雨雪がある場合には、地表に沈着し長期間留まる可能性が高くなります。さらに、土壌や瓦礫等に付着する場合や冷却水に溶ける場合があります。実際、平成23年3月に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故においては、格納容器の一部の封じ込め機能の喪失、溶融炉心から発生した水素の爆発による原子炉建屋の損傷等の結果、セシウム等の放射性物質が大量に大気環境に放出されました。また、炉心冷却に用いた冷却水に多量の放射性物質が含まれて海に流出しました。したがって、事故による放出形態は必ずしも単一的なものではなく、複合的となります。

### [原子燃料サイクル施設の例]

再処理施設において、化学物質による火災、爆発等によって施設で取扱っているプルトニウム 等の放射性物質の一部が微粒子となって空気中に移行することが想定されます。これらは大部分 がフィルタによって浄化されながら一部が施設外に放出されます。施設外に放出された放射性物 質は風下方向に拡散しながら濃度が低くなっていきます。

### ② 原子力施設の安全対策、防災対策

原子力施設では、上記のような事故を未然に防止するため厳しい安全対策を講じてきましたが、平成23年3月に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故を踏まえ、平成25年7月に原子力発電所の新規制基準を定めるとともに、原子力防災対策についても、抜本的な見直しを行っているところです。

### <原子力施設の安全対策>

原子力施設の安全確保の基本は、運転により発生する放射性物質を確実に管理し、平常時、事故時を問わず、これを閉じ込め、施設周辺の環境や人々に影響を及ぼさないことです。このため「多重防護」と呼ばれる次のような3段階の考え方に基づき安全設計を行うとともに、設計から運転の各段階で法令などに基づく厳しい安全対策が講じられています。

また、福島第一原子力発電所事故を踏まえ、再び重大事故が発生しないように、地震、津波の 想定を厳格化し、上記の原子力施設の安全対策について基準を強化するとともに、万一重大事故 が発生した場合にも、その進展を防止するための基準が設けられました。

[第1段階]:機器の故障、破損など事故の原因となるような異常の発生を極力防止する。

[第2段階]:第1の対策にもかかわらず、異常が発生した場合において、異常の拡大および事故への発展を防止する。

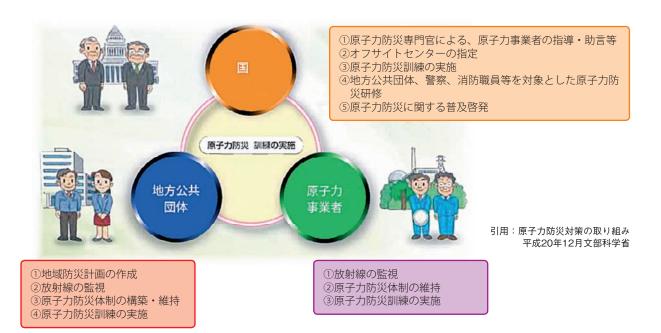
[第3段階]:第1、第2の配慮にもかかわらず事故が発生したと仮定した場合においても、放射性物質の環境への放出を防止する。

### <原子力防災対策(平常時の対応)>

原子力防災対策については、平成23年3月に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電 所の事故を踏まえて、「原子力災害対策特別措置法」等を修正し、原子力防災対策の抜本的な見 直しを行っています。

この見直しにより、地震・津波等との複合災害への対応や、原子力発電所に係る原子力災害対策重点区域がこれまで施設から概ね10kmの範囲だったものが30kmに拡大される等、原子力防災対策の強化が図られています。

また、実際に事故が起きたときに備えて、国、県や関係市町村、原子力事業者や防災関係機関 に、周辺住民も参加し、原子力防災訓練を行います。(図16)

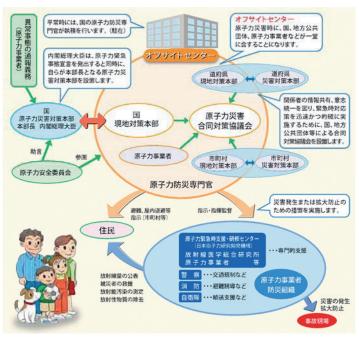


【図16】 平常時の取組

<原子力防災対策(災害発生時の対応)>原子力施設からの放射線や放射性物質の影響が周辺地域に及ぶか、及ぶおそれのある場合、国、自治体、事業者やその他関連機関の連携のもとに、防災無線、テレビ、ラジオなどの手段を使って必要な情報を地域住民に伝えます。また、原子力施設の状態等が、国で定められた指標を超えたときは、防護対策として退避または避難等の指示が国や自治体から出されます。(図17)

#### オフサイトセンター:

オフサイトセンターは、原子力緊急事態が発生した場合に、現地において、国の原子力災害対策本部や都道府県および市町村の災害対策本部などが、原子力災害合同対策協議会を組織し、情報を共有しながら、連携のとれた応急対策を講じていくための拠点となるものであり、その機能は極めて重要です。



引用:原子力防災対策の取り組み 平成20年12月文部科学省 一部改

【図17】 原子力災害発生時の対応

### <原子力災害における防護の基本>

万が一、原子力災害が起こり、原子力施設周辺に放射性物質の異常な放出が起こった場合、外部の放射線から身体を守るとともに、放射性物質との接触や吸引を避けることが重要です。

外部の放射線から身体を守る基本は「距離」「時間」「遮へい」です。例えば、放射線の量は放射線源からの距離の2乗に反比例するため、離れれば離れるほど影響は著しく弱まります。また、屋内退避するだけでも放射線をさえぎることが可能であり、特にコンクリートの建物はその効果が大きいものとなっています。

放射性物質を体内に取り込む恐れのある場合は、放射性物質を「吸わない」「飲まない」「食べない」ように努める必要があります。また放射性物質を室内に持ち込まないよう、外出から戻ったら手・顔・髪などを洗ったり、服を着替えたりして、放射性物質が体に触れないよう工夫することも有効です。

以上の防護の基本に基づき、原子力災害発生時には、屋内退避、コンクリート屋内退避、避難 および食物摂取制限などの防護対策がとられます。

### (5) 県内の原子力施設

青森県には、六ヶ所村に原子燃料サイクル施設が、東通村に東通原子力発電所が立地しているほか、むつ市にリサイクル燃料備蓄センターが、大間町に原子力発電所が建設中です。

こうした施設では、原子力災害に備えて「原子力事業者防災業務計画」を作成し、防災体制をとることが義務づけられています。

### ◎施設の概要(平成25年8月末現在)

### ■原子燃料サイクル施設

施設名	位 置	敷地面積	規模	着工	操業開始
   ウラン濃縮工場	青森県上北郡 六ヶ所村尾駮 -	約360万 平方メートル (専用道路等を含む)	150トンSWU* <sup>1</sup> /年で操業開始 (最終的には1,500トンSWU/年)	昭和63年10月	平成 4年3月
低レベル放射性 廃棄物埋設 センター			約20万平方メートル (200 ぱだ ラム缶約100万本相当) (最終的には約60万立方メート ル (同約300万本相当))	平成 2年11月	平成 4年12月
高レベル放射性 廃棄物貯蔵管理 セ ン タ ー			返還廃棄物貯蔵容量ガラス固化体2,880本	平成 4年5月	平成 7年4月
再処理工場		約380万 平方メートル	最大処理能力800トン・ウラン/年 使用済燃料貯蔵容量3,000トン・ウラン	平成 5年4月	平成25年10月
MOX燃料工場			最大加工能力130トンHM*2/年	平成22年10月頃	平成28年3月頃

<sup>\*1:</sup>SWUとは、ウランを濃縮する際に必要となる仕事量を示す単位

 $<sup>^{\</sup>star 2}$ : トンHMとは、MOX中のプルトニウムとウランの金属成分の重量を示す値

### ■原子力発電所

発電所名	位 置	敷地面積	電気出力	着工	運転開始
東北電力㈱東通原子力	青森県下北郡 東通村	約380万 平方メートル	1号機:110万KW (沸騰水型軽水炉/低濃縮ウラン燃料)	平成10年12月	平成17年12月
来 地			2号機:138.5万KW (改良型沸騰水型軽水炉/低 濃縮ウラン燃料)	未定	未定
東京電力㈱東通原子力		約460万 平方メートル	1号機:138.5万KW (改良型沸騰水型軽水炉/低 濃縮ウラン燃料)	平成23年1月	未定
来 地			2号機:138.5万KW (改良型沸騰水型軽水炉/低濃 縮ウラン燃料)	未定	未定
電源開発㈱ 大間原子力発電所	青森県下北郡 大間町	約130万 平方メートル	138.5万KW (改良型沸騰水型軽水炉/ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料、低濃縮ウラン燃料)	平成20年5月	未定

### ■中間貯蔵施設

施設名	位 置	敷地面積	規模	着工	運転開始
リサイクル燃料 備 蓄 センター	青森県むつ市 大字関根	   約26万平方メートル	約3,000トン (照射前金属ウラン量)	平成22年8月	平成25年10月

